

そしてこれから



オシドリグループ事務局
森田順子 さん（根雨）



日野町長
梅林 豊

芽を出した人のきずな

オシドリ観察は、まちを代表する観光スポット。その人気と存在は、まちの代名詞とも言え、地域に与える影響は多大了。グループの皆様にはその活動に心から敬意と感謝を申し上げます。

まちとしてもこの活動を支援し「愛と元気なまちづくり」のシンボルとして積極的に活用を図り、地域の活性化に結

びつけていきたいと思えます。ドングリは小さいですが、長い年月を経て巨木となり、たくさんの実をつけます。オシドリグループのまいた種が10年という自主的な活動を経て、大きな地域の輪となり、人のきずな」という実をつけました。この実がまち全体に広がり、いたるところで芽を出すことを期待しています。

人と人を結ぶオシドリ

感動とやすらぎを与えてくれるオシドリ。その姿を多くの人に見てほしい。その思いで地道に活動してきたグループも10年が過ぎました。オシドリを通じて広がる交流と支援の輪。皆さんに支えられながら続けてこれました。日ごろよりご理解とご協力をいただき本当にありがとうございます。特に観察小屋に一番近い稲田さんご夫婦に

は助けられました。人と人を結んでくれるオシドリを「天使」だと思っています。これからも夢である「鳥と人が共存していける環境」を形にしていくため、皆さんといっしょに環境保護について考え、行動していきたいと思えます。それにはまず、オシドリを見ていただくのが一番です。観察小屋でお会いしましょう。オシドリは元気です。

それぞれの思い *Interview*

ひとりが始めたオシドリ保護活動。たくさんのオシドリたちが飛来するようになったわけではありません。支援や交流の輪が広がり、まちの活性化や人づくりにも大きな影響を与えています。



日野町ボランティアセンター
山田利美
さん（貝原）



(株)まちづくり日野代表取締役
窪田憲二
さん（根雨）

地域活性化につながる

オシドリ観察は、全国に情報発信できる観光資源のひとつ。集客効果はすばらしく、まちにとって欠かすことのできない存在です。

全国各地から多くの人が訪れます。ほかの観光資源と結びつけることができれば、地域はもっと活性化すると思います。

来年3月には、前回に引き続き「オシドリマラソン」をお

しどりヘルシーウォーク」を企画。宿場まちの風情が残る根雨のまち並みとオシドリを結びつけ、地域の良さを紹介していきたいと考えています。

オシドリ飛来もそうですが、何事も定着するには長い年月と情熱を持った人が必要です。まちづくりも長期的視野を持ち、将来を考えながら進めていかなければなりません。

自分にできることから

オシドリグループの地道な取り組みは、人と人とを結んで大きな輪になりました。

今、町内ボランティアの輪は、それぞれの地域や団体の中で広がりを見せています。

ボランティアとは特別なことをすることではありません。例えば、出会った観光客にまちの名所を教えてあげる。簡単な説明でいいと思うんで

す。その輪が広がり、地域全体が案内人になれば、まちも活気づく。というふうには、みんなの力が集まれば大きな力になっていくと思います。

「自分にできることはないか」を考えて、それを実際に行動に移してみましよう。ひとりでも多くのボランティアが育ってくれることを願っています。